

世界宗教 民族宗教の枠を超えて発展し、民族宗教などを取り入れつつ創^始設者によって興され創設の時期も明確である。

キリスト教 紀元一世紀初頭ローマ支配下のユダヤの聖地で^{イエス}イギリス、キリストによってユダヤ教を母体として開かれた。

旧約聖書と新約聖書があり キリスト教は2つの聖書を共に救いに必要なものとして正典としている。

旧約聖書はイエスの生れる前の神モーゼの世界

新約聖書はイエスこそが主であるという世界

仏教 仏陀によって始められた宗教で、継承され発展して今日に及んでいる。

釈迦が開いた宗教「仏陀の教え」はこの世の迷い、苦しみと見るが苦行にも快樂にもへだたらず 生きとし生けるのを救済する。

仏陀という人は紀元前463年に生まれ 80年の生涯を送った人と言われている。

又、仏教は古代バラモン教の影響を受けているといわれているがインドが発祥の地といわれながら インドの仏教はほぼ全滅している。

イスラム教 七世紀始めにアラビアの部族宗教を基盤として^{ムハンマド}ムハマド（マホメット）によって開かれた。

イスラムとは神への絶対帰^依存を意味し 信者はムスリム（神に帰依した者）と呼ばれ 唯一の神アラーこそこの世を支配している神であり この神を信じ善い行いを積んで間近に迫っている終末と審判に備えよと説いている

信者は10億人とも12億人ともいわれている。

- 民族宗教 神が特定の部族や民族に恵みを与えることを信じる宗教で独自の歴史を持ち他の世界宗教に影響を与えた影響も少なくない。
- ユダヤ教 ユダヤ教は目に見えない唯一の神 しかも万物を創造し支え戒（いまし）める恵み、正義によって歴史を導く主なる神ヤハウエを信じる。
古代イスラエルの宗教ともいわれ、中心はモーゼを通して示されたという「律法（トーラー）」であるが 成文化され「モーゼの五書」となっている。しかしユダヤ教はイエスをメシヤとするキリスト教の信条を認めていないため四世紀にキリスト教がローマ帝国の国教となると中世^{近世}を通じて迫害を受けるようになった。
- ヒンズー教 インドの代表的な宗教で 紀元前300年頃に関わられたヒンズー教は多神教で主要な神々には宇宙を創造したブラフマー宇宙を維持するビシュヌ、ビシュヌの妃シュリー破壊の神シバ、シバの妃ドウルガーなどがいる。
- シク教 15世紀インドで生まれたヒンズー教系の宗教で最高神ハリに帰依し 解脱（げだつ）する道を説く。
教祖は宗教改革者ナーナクで偶像崇拝と苦行を否定し、カースト制度を認めず 世俗生活をそのまま肯定する信仰を教えとしている。
信者数は1400万人といわれている。
- ジャイナ教 仏教と同時代に始まり現代のインドにいまだに行き続ける重要な宗教の一つである。
仏教の教えとかなり近いとされ バルダマーナが開祖とされ後にジナ（勝利者）と呼ばれた。
ジャイナ教の教祖^理は詳細に記すことはまことに至難のわざとされる。
現在住んでいる世界は中央界でその^{どには}天上界があり下には地獄の世界がある。
この三世界は非世界と呼ばれる際限（さいげん）のない空間に覆われているといわれている。インドでは信者数が300万人といわれている。

ゾロアスター教 全能の神「アフラ、マズダー」を崇拜し、悪魔「デーワ」を^{排除}崇拝するためこの世に祈りと儀礼をもたらす。

紀元前七世紀中頃、ゾロアスターによって開かれた宗教で、約11万人の信者がいるといわれ そのうち7,5万人がインドに住んでいるといわれている。

聖なる火に祈り、死体悪魔と闘うとされている。

儒教 孔子（こうし）に始まり孟子（もうし）荀子（じゅんし）などの思想家によって吟味・整備された儒教数学は漢の武帝が中央集権体制を確立すると共にとうちゅうじょの献策（目上の人に方策を申し述べる）によって国教となった

日本にも六世紀中頃伝来し、家父長中心の家族道徳など^{根拠}根拠づける思想として幕府の封建支配を支える。

役割を果たしたが、社会の近代化とともに次第に影響力を失った。

道教 道教は儒教と並んで中国が生んだ漢民族の宗教である。老子が唱えた道家の思想を取り入れ、老子を神格化して道教^{の祖}とした。

道教は中国社会に古くから根を下ろしている神々の信仰と呪術を取り入れた宗教であり、民衆道教と呼ばれる広義の道教が活発に信仰された。

いわば中国人の日常生活の宗教で、枠からはみ出した宗教結社で、反乱を繰り返した白蓮経やその分派で清末に反乱を起こした天理教も民衆道教の結社である。

実に多様な神々が信仰され仏教、儒教を始めイスラム教、キリスト教の神々まで礼拝の対象となっている。

日本の道教は、仏教、儒教と前後して伝来した。日本では道教はまとまった宗教の形はとらなかつたが、神道や修験場^道に溶け込んでさまざまな道教の神々が信仰され七福神の一部も道教の神であり日本的に取り入れられている。

神 道 神道とは日本人にとつてごく身近に存在している宗教である。

日本の神になった外国の神々

七福神： 七福神の信仰は室町時代末期に始まったとされる。

- 1、^{えびす}恵比寿 日本本来の神で、客人神（まろうどがみ）とも考えられているが、イザナギ・イザ^ミミの子供のヒルコとも言われている。
漁業や農業の神といった性格の他、商売の守護神としての性格もあわせ持っている。
- 2、^{だいにくてん}大黒天 ^{まじ}インドから神で、本名はマハー^{カーラ}カラ（シバ神の^{化身}代神の一つとされる）
インドでは台所の神とされ、天台宗の寺院の台所に祀られるようになった。
日本では財神として親しまれている。
- 3、^{へんざいてん}弁財天 インドの大河の神
本名はサラスバデイと呼ばれ、日本に来てから芸能の神となった。
- 4、^{びしゃもんでん}毘沙門天 ヒンズー教の神が仏教に取り入れられた。
本名はバイシュラ^バナと呼ばれ、日本では財宝や富貴などをつかさどる神とされている。
- 5、^{ほ てい}布袋 実在した中国の僧。
本名は契此（けいし）と呼ばれ、日本に来てから福を招くと信仰されている。
- 6、^{ふくろくじゅ}福祿寿 中国から来た神。南極星を神格化した神。
日本では延命や、厄除けなどをつかさどる。
- 7、^{じゅろうじん}寿老人 中国から来た神。南極星を神格化した神。
福寿の神としてつかさどる。

日本の神になった外国の神々

- ①、金比羅神 インドから来たガンジス川にすむ仏教の守護神
本名はクンピーラ。日本では海軍の安全を祈り、金比羅大権見と称する。
- ②、牛頭天王ごずてんのう インドから来た牛を頭にいただいた神。
本名は武塔太子（むとうたいし）と呼ばれ、日本では祇園精舎（ぎおんしょうじゃ）の守護神で、疫病を退散させてくれる神。
- ③、神農神 中国から来た神で伝説上の帝王。
本名は神農という。農業や商業、医療に精通し、祀られている。

神に祀られた人々

①、柿本人麻呂

柿本神社 (兵庫県明石市)

学問、除災、夫婦和合などのご利益で信仰されている。

②、菅原道真

北野天満宮 (京都市^北野)

大宰府天満宮 (福岡県太宰府)

学問、和歌の神として信仰されている。

又、雷神とも言われ、農業の守護神として信仰されるようになる。

③、平将門

神田明神 (東京都千代田区神田)

除災、厄除の神として信仰されている。

④、安部清明

清明神社 (京都市上京区)

除災、厄除、病氣平癒などのご利益で信仰されている。

⑤、楠木正成

湊川神社 (神戸市中央区)

生活一般のご利益で信仰される。

「七生報国」と言って七回生き変って朝敵を滅ぼすといわれ、歴代の天皇、特に明治天皇に慕われていた。

⑥、新田義貞

藤島神社 (福井市毛矢)

生活一般のご利益で信仰される。

⑦、豊臣秀吉

豊臣神社 (京都市東山区)

出世、開運の神として信仰されている。

全国に5箇所あり (金沢市、名古屋市、滋賀県長浜市、大阪市)

⑧、徳川家康

日光東照宮 (栃木県日光市)

厄除、開運のご利益で信仰されている。

全国前項に26箇所の東照宮がある。北海道は及部にある。

⑨、東郷平八郎

東郷神社 (東京都渋谷区)

合格祈願、必勝祈願などの信仰されている。
戦前は海軍の神として信仰された

⑩、乃木希典のぎまねすけ

乃木神社（東京都港区）

護国の神、文武両道の神、夫婦和合の神として信仰されている。

戦前は陸軍の神として信仰された。